

市役所って

上田市政
3年目

皆さんに「成果を実感してもらおう年」を目指します!

今月の特集は、連載企画「何やってるの!?!市役所って」のスペシャル版。平成17年度予算の概要を中心にお届けします。おなじみの「まーくん」と「はかせ」は、3年目を迎える上田市政をより深く理解することができるでしょうか。



17年度予算に関するお問い合わせは財政部 ☎211-2216へ

誌上インタビュー

**上田市長に聞く
平成17年度予算
のポイント**

市長＝上田市長
まー＝まーくん
は＝はかせ



まー：予算って言えば、昨日、パパが「そろそろ車を買いたいね」と言ったら、ママは「今年はお給料が上がらないのに、まーくんの英語教室の月謝は上がるし、家計的に厳しい!」ときっぱり!

市長：市もそんな感じですか?

まー：基本的には。なぜ厳しいのかを説明すると、市内の景気がなかなか上向かないこともあり、ここ何年も市税などの市の裁量で使える収入は伸びていません。

一方、生活保護や国民健康保険を支える経費など、市として欠かすことができない支出は増え続けています。

まー：使えるお金が減っているのに、みんなの暮らしを支えるお金はどんどん膨らんでいるんですね。

市長：そのため、市が自由に使えるお金の割り合いはどんどん小さくなっています。

まー：今年、具体的にどんな年にしたいですか?

市長：十七年度は、市政運営の三大プランの一つである「新まちづくり計画」に基づく事業を着実に進めるとともに、「市民自治推進」市役所改革の両プランもより具体化していきます。私もいよいよ任期の三年目。皆さんに取り組みの成果を実感してもらおう年にしたいですね。

3つの重点項目

- 地域でのまちづくり活動の推進
- 子ども関連施策の充実
- 高齢者や障がいのある方の社会参加の促進

は：予算の内容を決めるのに心掛けたことは?

市長：基本方針は、「伸ばすべきものは伸ばし、変えるべきものは思い切って変える」。右の三つの重点項目を中心に、限られた財源をどう有効に使うのか、市役所一丸となって真剣に議論したんですよ。

まー：努力した点は?

市長：今年も、市役所の仕事を一つひとつ根本から点検しました。その結果、事務の効率化や市民サービスの見直しなどにより、約百四十三億円の効果額を生み出すことができました。